

# 楽しき農夫

訳詞・吉丸一昌  
作曲 シューマン

0/2

□□

1

小鍬（おぐわ）を 肩にかかげ  
とぼとぼ たどるや野らみち  
小鎌（おがま）を 腰にさして  
夕暮 帰るや川端  
よい月 すでに明（あか）し

子牛よ いざや急げ

妻子（つまこ）待ちてや 詫（わ）ぶるらん

かなたの 森のあかり

あれこそ 我が家のともし火

2

刈穂（かりほ）を 馬に乗せて

たのしや 夕べをたどれば

み空に 雁（かり）は鳴きて

うれしや 月影（つきかげ）出（い）でたら

のどけき 御世のさまや

いずこか 村まつらの

太鼓の 調べもきこえて

たらしや たらりとつと

川辺の水瀬（みなせ）に 落ち来る

# 楽しき農夫

訳詞・吉丸一昌  
作曲 シューマン

1 / 2

1

小鍬（おぐわ）を 肩にかかげ

とぼとぼ たどるや野らみち

小鎌（おがま）を 腰にさして

夕暮 帰るや川端

よい月 すでに明（あか）し

子牛よ いざや急げ

妻子（つまこ）待ちてや

詫（わ）ぶるらん

かなたの 森のあから

あれこそ 我が家のともし火



# 楽しき農夫

訳詞・吉丸一昌  
作曲 シューマン

2 / 2

2

刈穂（からほ）を 馬に乗せて

たのしや タベをたどれば

み空に 雁（かり）は鳴きつ

うれしや

月影（つきかげ）出（い）でたら

のどけき 御世のやまや

いずこか 村まじらの

太鼓の 調べもきこえて

たらりや たららとらとらと

川辺の水瀬（みなせ）に 落ち来る

End

# 楽しき農夫

訳詞・津川圭一  
作曲 シューマン

0/2

□□

1.

朝風そよ吹く頃  
農夫は連れ立ち  
出かける

野道に沿いて走る  
小川の流れも美し  
仰げば空は高く  
小鳥のさえずる声  
遠くまた近く 聞こえる  
幸せな農夫たち  
ともどもうちそろって  
畑にたんぼに働く

2.

夕日は西の空に  
黄金の色して隠れる  
入り会いの鐘の音は  
高くまた低く 聞こえる  
仕事をここに終わり  
家路をさして帰る  
人の足取りの楽しさ  
背に負う取り入れ物  
かわいい野辺の花も  
それにうち混じり揺れてる

# 1. 楽しき農夫

朝風そよ吹く頃  
農夫は連れ立ち  
出かける  
野道に沿いて走る  
小川の流れも美し  
仰げば空は高く  
小鳥のさえずる声  
遠くまた近く 聞こえる  
幸せな農夫たち  
ともどもうちそろって  
畑にたんぼに働く

訳詞・津川圭一  
作曲 シューマン

## 楽しき農夫

訳詞・津川圭一  
作曲 シューマン

2 / 2

2.

■ ■  
夕日は西の空に

黄金の色して隠れる

入り会いの鐘の音は

高くまた低く 聞こえる

仕事をここに終わり

家路をさして帰る

人の足取りの楽しさ

背に負う取り入れ物

かわいい野辺の花も

それにうち混じり揺れてる

End